

【短報】石川県におけるダイコクアリヅカムシの記録

ハネカクシ科アリヅカムシ亜科オノヒゲアリヅカムシ上族 *Brachyglutini* 族 *Brachyglutina* 亜族に属するダイコクアリヅカムシ *Rybaxis princeps* (Sharp, 1874) (図1) は, Sharp (1874) によって *Bryaxis princeps* として長崎県から記載された後, Jeannel (1958) により, 岡山県の記録を加えて *Rybaxis* 属に移され, 現在に至っている。

その後, 日本産ハネカクシ科総目録 (柴田ほか, 2013) において, 本種の分布は本州, 四国, 九州とされており, 分布範囲が広い種であることが分かる。しかし, 筆者は 1990 年頃から石川県内各地でアリヅカムシの分布調査を行ってきたものの, これまで本種を採集できなかったほか, 筆者の知る限り, 本県近県では野村 (1994, 2002, 2016) による新潟県, 京都府および岐阜県の記録があるにすぎない。

このたび, 筆者は, 石川県白山市の石川県ふれあい昆虫館内生態園に設置した FIT で本種を採集したので, 以下のとおり報告する。



図1. ダイコクアリヅカムシ, ♀.



図2. 石川県ふれあい昆虫館内生態園の調査地 (石川県白山市八幡町)。

1♂1♀, 石川県白山市八幡町 (石川県ふれあい昆虫館内生態園 FIT), 22. V. – 9. VI. 2018, 筆者採集・保管。

なお, 本生態園は, 図2 のとおり斜面林の下部に位置し, 直径 1 m ほどの複数の大石が置かれた場所で, 平成 10 年の本昆虫館開館に合わせて造成・整備されたものである。

野村 (2018) は, 本種の生息環境について, 特定が困難で, 落葉広葉樹林の落ち葉の中から発見されることもあれば, 林道わきのススキの根際から見つかることもあり, 原生林のような一次的な自然環境よりもむしろ, 多少人手の入った二次的環境の方を好む傾向にあるとしており, 本報告と一致するものと考えられる。

最後に本報告を記すにあたり, 本生態園での調査を許可いただいた石川県ふれあい昆虫館, 本種の同定および平日頃ご指導をいただいている国立科学博物館の野村周平博士に感謝の意を表する。

引用文献

- Jeannel, R., 1958. Révision des Psélaphides du Japon. Mémoires du Museum National d'Histoire Naturelle, Paris. série A, Zoologie, 18: 1–138.
- 柴田泰利・丸山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Volker Puthz・島田 孝・渡部泰明・山本周平, 2013. 日本産ハネカクシ科総目録. 九州大学総合研究博物館研究報告, (11): 69–218.
- Sharp, D., 1874. The Pselaphidae and Scydmanidae of Japan. Transactions of the Entomological Society of London, 1874: 105–130.
- 野村周平・小池 寛, 1994. 新潟県産アリヅカムシ分布資料. 越佐昆虫同好会特別報告, (2): 123–137.
- 野村周平・水野弘造, 2002. 京都府で採集されたアリヅカムシ. ねじればね, (101): 1–15.
- 野村周平・亀澤 洋, 2016. 岐阜県のアリヅカムシ相に関する記録と考察. さやばねニューシリーズ, (21): 18–24.
- 野村周平, 2018. 東北地方の宮城県ならびに近隣諸県のアリヅカムシ相 (ハネカクシ科, アリヅカムシ亜科) に関する資料. さやばねニューシリーズ, (29): 35–42.

(中田勝之 921-8112 金沢市長坂 3-4-1)

◇学会の発行物・バックナンバーの販売委託先◇

昆虫文献 六本脚

〒 102-0075 東京都千代田区三番町 24-3

三番町 MY ビル 3 階

TEL: 03-6825-1164

FAX: 03-5213-1600

E-mail: roppon-ashi@kawamo.co.jp

URL: <http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/>